

玉津博克教育長に対する不信任決議

去る9月19日の石垣市議会一般質問中に、学校現場で行われている平和教育について、「思考停止」との玉津教育長の発言があった。

この発言は、県紙でも大きく取り扱われ「語りべたちを冒とくするもの」と社説で厳しく指摘された。

玉津教育長の今回の発言は、市民、県民、教育関係者及び戦争体験者の語りべの皆様に不信と不快を与えている。

玉津教育長の問題発言は、今にはじまったことではない。琉球大学教育学部との教育支援事業において、特定の人物の排除を求めたことに対し、「民主主義社会にあってはならないこと」として、琉球大学教育学部長より抗議を受け、その真相解明と対応について教育委員会の判断が待たれている最中であり、今回の玉津教育長の独断と偏見に基づく「思考停止」発言は、公正中立を堅持しなければならない立場を大きく逸脱するもので、その資質が問われている。

よって、ここに玉津博克教育長の不信任を決議する。

平成25年9月25日

沖縄県石垣市議会